

佐川美術館「アートコラム」⑧

紫式部も詠んだ琵琶湖

佐川美術館
 学芸員・藤井 康憲



現在放送中の大河ドラマでもおなじみの紫式部。「源氏物語」の執筆を始めたとされる石山寺境内に大河ドラマ館が設けられるなど、県内でも盛り上がりを見せています。

滋賀県にゆかりのある紫式部ですが、彼女はどのような想いで近江の地を訪れたのでしょうか。それを読み解く和歌が伝えられています。

三尾の海に 網引く民の 手間もなく

立ち居につけて 都恋しも

この歌は彼女が996年、住み慣れた京の都から越前(現在の福井県)に赴任する父・藤原為時に随行した際、琵琶湖畔の三尾が崎(現在の高島市)で詠んだ歌です。

歌意としては、「この地で網を曳く漁民が手を休めるひまもなく、立ち働いている様子を見るにつけても都が恋しく思われる」になります。当時24歳の彼女が、きらびやかな都での暮らしに後ろ髪をひかれる想いであったことがうかがえます。慣れない土地でこれから始まる暮らしに不安を抱えながらこの歌を詠んだ紫式部は、琵琶湖を眺めながら都への思慕を募らせる歌を他にも何首か詠んでいます。

琵琶湖の近くに建てられた当館は、自然美との調和も見どころの一つです。私たちにとってもなじみ深い琵琶湖を眺めながら、紫式部をはじめ歌人たちは、さまざまな想いをよせて歌を詠んでいます。時には物思いにふけり、またある時は眼前に広がる美しい景観を愛でることもありました。歌人たちに愛され続けてきた風光明媚な琵琶湖の風景を、改めてじっくりと見つめ直してはいかがでしょうか。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話☎(585)7800でお問い合わせください。

社会教育・文化振興課からお知らせ

佐川美術館「守山市民の日」

市民の皆さまは、無料で鑑賞いただけます。市内在住であることが分かるものをお持ちください。

時 7月19日(金)午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

所 佐川美術館

☎社会教育・文化振興課 ☎・☎(582)1142 FAX(582)9441

スポーツ協会からのお知らせ

第77回 滋賀県民スポーツ大会 選手団結団式・壮行会

県民スポーツ大会に市代表として出場する選手団にエールを送りましょう。

時 7月12日(金)午後7時30分～ 所 市役所 2階 防災会議室



夏季ソフトテニス教室参加者募集

時・連 ①7月20日(土)、②21日(日)、③27日(土)、④28日(日)、⑤8月3日(土) ※予備日：⑥8月10日(土)

※①午前9時～正午、②午後6時～9時

所 市民運動公園 テニスコート 所 市内在住・在勤・在学 費 2,000円(傷害保険含む)

申 参加費を添えて直接、下記へ申し込み。

他 詳しくは、スポーツ協会ホームページをご覧ください。

☎524-0051 三宅町100番地 市民体育館内 守山市スポーツ協会事務局

☎・☎・FAX(583)3113 ✉jimukyoku@sports-moriyama.jp 火曜日と祝日の翌日を除く

午前9時～午後5時 ※事務局に職員不在場合があります。電話でご確認ください。



スポーツ協会
ホームページ